

無実の市民が死刑執行された飯塚事件

死刑判決を事件直後の新聞報道等から考察する

2023年8月20日 清水 信之

1992年2月20日、福岡県飯塚市で小学校1年生の女兒2人が行方不明になり、翌21日に甘木市の八丁峠山中から遺体で発見された飯塚事件。犯人とされた久間三千年さんは2008年10月に死刑執行されています。いま、遺族が再審をもとめています。

第2次再審請求審の新証拠は、「事件当日の午前10時30分頃から11時頃、八木山バイパスで後部座席におびえた様子の女兒を乗せた久間さんとは別の男が運転していた白の軽自動車を見た」という証言です。

この証言は、「午前9時頃までに殺害された」とした死刑判決の認定を否定するもので、事件の根幹を覆す極めて重大な証言です。また、弁護団は、女兒最後の目撃場所（誘拐発生場所）の根拠にされている農協職員O女供述に信用性がないことを現場検証であきらかにして意見書を提出しています。

事件発生直後の新聞には、判決認定の午前9時以降に女兒2人が目撃された場所と時間の捜査情報や市民から寄せられた情報が掲載されています。

以下、当時の報道と関係者の供述等から死刑判決について考察します。

(注) ①判決の核心である農協職員O女調書、T氏八丁峠目撃調書は私たちの検証で信用できないこと、捜査官の誘導が疑われることから、報道にその影響が表れる可能性が考えられる2月末で区別しました。

②本考察は一市民の考察であり、しかも資料は、福岡地裁判決と一部の新聞報道および一部の関連証拠で不十分で中間報告であることをご理解ください。

1 遺体発見までの捜査の経緯

①2月20日午前8時20分、健康観察の時間に2人がいないのを担任が気付く、保護者に連絡。午後0時半ころ、学校から、飯塚署に捜索願がだされる。

②学校は4時間目で授業を打ち切り、教職員、PTA計35人で通学路を中心に捜す。飯塚署は、夜になって2人が帰っていないことから急遽全署員を招集。100人体制で聞き込み。(以上読売新聞2/22)

③20日は、警察、消防関係者ら約200人で捜索、21日は、1,000人規模に増やした。

④しかし、2人の足取りについて有力情報が得られず、21日午後4時、公開捜査に踏み切り、2人の写真の入ったポスターを市内の商店街など広範囲に配布した。
(以上朝日新聞2/22)

⑤21日午後4時55分 2人の遺体発見 (各紙)

2 女兒目撃に関する報道(2月29日まで)

(1)20日午前8時半ころまで(時系列)

①午前7時40分 友達3人で自宅を出て、学校に向かう。Aちゃんが「学校にいきたくない」と言い、Bちゃんも同調したのでC子は先に行く。

- ②同8時08分 2人の自宅から約300m離れた所の交通整理の男性が先に歩いてきた1人を目撃。「今日は一人ね」と声をかける。(22日西日本朝刊)
- ③午前8時10分直後、近所の人々が横断地点の手前で、Aちゃんが泣き、Bちゃんがなだめているところを目撃。(23日読売朝刊)
- ④同8時20分ごろには、同地点の100m前で、同8時30分には、学校の300m手前の三叉路を、学校とは逆の方に歩いて行くのをそれぞれ別の人が見ていることがわかった。(23日読売朝刊)
- ⑤同8時半 学校から約300m離れた場所で2人が歩いているのを農協職員が目撃
(22日西日本朝刊)
- ⑥午前8時30分 通学路からはずれた学校近くの県道を学校と反対側に歩いている2人を農協女子職員が目撃
(22日読売朝刊)
- ⑦午前8時半 次に2人が目撃されたのは約30分後の午前8時半ごろ、飯塚市農協潤野支所前を歩いていた2人を農協職員が覚えていた(22日毎日朝刊)
- ⑧午前8時半ころ 潤野小から約400m離れた飯塚市農協潤野出張所近くの路上にいたのは確認されている。(27日西日本朝刊)
- ⑨午前8時半ころ 潤野小から400m手前の飯塚市農協潤野出張所前で面識ある農協職員が見た。(27日朝日朝刊)
- *学校近くの農協出張所前の路上で目撃されたのが最後の「確定情報」(捜査本部)
(27日毎日朝刊)

(2) 20日午前9時ころ以降(時系列)

- ①午前9時ごろ、2人が学校と反対側に向かっているのを近所の人が見ている。
(21日読売夕刊)
- ・午前9時ごろ 潤野小まで100mの地点にランドセルを背負った2人がいたところをタクシーで通りかかった女性が目撃
(28日読売朝刊)
- ②午後1時30分 学校から約2,5km離れた飯塚市本町の商店街の書店(朋文堂)で、2人が店入り口で犬をなでていたのを店員が目撃(22日各紙)
- ③午後2時 同商店街のおもちゃ屋(えびすや)で2人がキリンの縫いぐるみを見ながら「しっぽに鈴がついているでしょ。かわいいね」と階段にしゃがんで話しているのを店員が目撃。(22日西日本朝刊)
- ・午後2時 近くのおもちゃ店で、店員が「私、キリンのぬいぐるみを持っているよ」と話す2人の娘を見ている。(22日読売朝刊)
- *捜査の結果、Aちゃんの部屋でキリンのぬいぐるみが見つかり、Bちゃんとの2人だったと断定した。(22日読売朝刊)
- *捜査員によって得られた目撃証言は計8件。しかし、服装、ランドセルの有無、髪型などから娘2人と一致したのは2件。(22日読売朝刊)
- ④午後2時半 同商店街から2人が出ていくのをトラックの運転手が目撃
- ⑤午後6時45分 潤野小近くの嘉穂高校付近に2人がいたとの情報
(22日西日本朝刊)(24日読売夕刊)
- ☆潤野地区と商店街の間で目撃者がいないことと併せ商店街の目撃情報については、捜査本部でも意見が分かれている。(28日読売夕刊)

3 女児目撃に関する報道(3月1日以降)

★判決が採用している農協職員O女の供述調書(検面)は3月2日付

- ①8時半ころには、学校まで約400mの三叉路で、近くの農協女子職員が「なにかぐずぐずしている感じの2人」を見た。(3月19日読売朝刊)
- ②8時半ころ、学校近くの路上で農協職員に目撃された直後、2人の足取りは一時消える。ここから先は、約5mにわたって、両側に住宅のブロック塀や石垣がのびている。当時、塀が途切れる付近で造園業者ら数人が作業していたが、2人を見かけていないという (3月20日朝日朝刊)

4 自動車に乗っていた女兒の目撃報道(2月29日まで)

- ★第二次再審 新証言 午前10時半～11時 八木山バイパスの車中に2人を目撃
- ①20日午前11時前後 夜須高原でホンダ車の後部座席に女の子が2人乗っていたのを複数の人が目撃していた。(2月28日西日本)
- ②20日午後2時半ごろ 川津の国道201号交差点で、八木山方面から飯塚市内に向かう白い車の後部座席に黄色の服を着て、赤いランドセルを持った女の子が座っているのを目撃。Aちゃんの服装とランドセルと一致している。(27日西日本)
- ③20日午後4時ごろ 遺体や所持品が見つかった八丁峠から秋月地区にかけて、峠の路肩に白色乗用車が駐車していたのを通行人が目撃 (24日西日本)
- ④20日午後4時半ごろ 潤野小から南東へ約800mの穂波町小正(おばさ)の町道交差点付近で、白色ハッチバック式軽四輪か1000cc程度の小型車の後部座席に小学1年生くらいの女兒と窓越しに目があつた。怯えたような表情、Bちゃんに似ている。野方面から国道200号方面に走り去つた (27日読売)
- ⑤20日夕から夜にかけて、遺棄現場から1,5kの秋月地区の国道322号近くの路上で「不審な車を見た」という情報を得た。黒のトヨタクラウン。(23日西日本)
- ⑥同日夜から深夜の間 秋月地区の国道わき道で白色乗用車を約10人が目撃していた。そばに40歳前後の男性が立っていた。このときトラックは相まっていたが、7,8分後には開いていた、という。(2月24日西日本) (27日毎日)
- ⑦21日午前0時～ 甘木市の国道沿いで白い乗用車を複数の地元住民が目撃 (24日西日本)
- ⑧不審な白色の軽乗用車や白い乗用車に関する情報多数 (24日読売)

5 自動車に乗っていた女兒の目撃報道(3月1日以降)

- ★T氏の八丁峠目撃供述(員面)は3月2日からはじまり3月9日完成
- ①これまで220件を超える情報が寄せられているが、事件解決の手掛かりは依然つかめず、2人の拉致現場・時間、殺害場所も特定できていない。(3月4日西日本)
- ②女兒殺害事件は5日、発生から2週間を迎えた。これまでの調べで、犯人は同小付近で2人を含む複数の女兒に声をかけ、言葉巧みに2人を白い自動車に乗せて、夜須高原方面まで連れ去つた。との見方が固まりつつあるが、犯人に直結する物証や目撃情報が乏しく、捜査は長期化する様相を見せ始めている
- ③20日午前7時50分、2人の自宅から約500m離れたペットショップ前で、白い車に乗つた男が、別の女兒3人にしつこく声をかけていた。
- ④これ以降、「白い車に女兒2人が乗っていた」との情報が数多く寄せられている。
- ⑤白い車を追う捜査陣が最も注目しているのが夜須高原。20日午前11時ごろ、助手

席に女兒2人を乗せた白っぽい車が目撃され、正午過ぎには、全国植樹祭会場近くで、性別は不明ながら小学生とみられる子ども2人が遊ぶ姿を車で通りかかった人が見かけている。(以上3月5日西日本夕刊)

- ⑥20日午前8時半すぎ 潤野小校区に隣接する穂波町若菜小校区のT字路で停車中の女性が、前方を大型でやや古いタイプの黒色乗用車が横切った。中年の男性が運転、後部座席に乗った女兒をしっかりと、女兒たちは窓にへばりつくようにしており、助けを求めているようにも見えた。
- ⑦20日午前9時ごろ 潤野地区で紺色ワゴン車に女兒2人がおびえた様子で乗っているのを、女性商店主が見たといい、後輪がダブルタイヤだったという。筑豊地区約1600台に絞って捜査中。
- ⑧21日(20日か?) 昼 遺体発見現場から約3k飯塚市よりの所持品遺棄現場の国道322号線わきに止まっている紺色ワゴン車を目撃、女兒は見なかった。
(以上4月20日読売新聞)

考察 その1

*市民の目撃情報と「午前9時頃までに殺害された」判決の認定

1 午前9時以降の目撃情報の報道

- ①同8時半ころ 潤野小から約400m離れた飯塚市農協潤野出張所近くの路上にいたのは確認されている。
- ②同9時ごろ 潤野小まで100mの地点にランドセルを背負った2人がいたところをタクシーで通りかかった女性が目撃
- ③同10時半～11時頃 ★第2次再審 新証言 八木山バイパスの車中に2人を目撃
- ④同11時前後 夜須高原でホンダ車の後部座席に女の子が2人乗っていたのを複数の人が目撃していた。
*白い車を追う捜査陣が最も注目しているのが夜須高原
- ⑤午後1時30分 学校から約2,5k離れた飯塚市本町の商店街の書店(朋文堂)で、2人が店入り口で犬をなでていたのを店員が目撃
- ⑥同2時 同商店街のおもちゃ屋(えびすや)で2人がキリンの縫いぐるみを見ながら「しっぽに鈴がついているでしょ。かわいいね」と階段にしゃがんで話しているのを店員が目撃。店員が「私、キリンのぬいぐるみを持っているよ」と話す2人の女兒を見ている。
*捜査の結果、Aちゃんの部屋でキリンのぬいぐるみが見つかり、Bちゃんとの2人だったと断定した。
- ⑦同2時半 同商店街から2人が出ていくのをトラックの運転手が目撃
- ⑧同2時半ごろ 川津の国道201号交差点で、八木山方面から飯塚市内に向かう白い車の後部座席に黄色の服を着て、赤いランドセルを持った女の子が座っているのを目撃。Aちゃんの服装とランドセルが一致している。
- ⑨同4時半ごろ 潤野小から南東へ約800mの穂波町小正(おばさ)の町道交差点付近で、白色ハッチバック式軽四輪か1000cc程度の小型車の後部座席に小

学1年生くらいの女兒と窓越しに目があつた。怯えたような表情、Bちゃんに似ている。

⑩同6時45分 潤野小近くの嘉穂高校付近に2人がいたところを目撃

2 以上から判決の殺害時刻（午前9時～9時半）以降も2人が生存しているところを目撃した人は、②以下、少なくとも9人以上（夜須高原の目撃者は複数人）。

中には勘違いの情報もあると思われるが、捜査員によって確認された、服装、ランドセルの有無、髪型などから女兒2人と一致した情報が2件あり、商店街の2店舗の情報は当日か翌日のものであり裏付け捜査で2人と確認している。また、捜査陣が最も注目していた夜須高原で、助手席に女兒2人を乗せた白っぽい車の目撃情報など午前9時以降も2人が生存していた可能性が高い情報が寄せられていた。

判決は結果として、これら事件の根幹にかかわる殺害時間に関連する市民の目撃情報をすべて無視（虚偽と）している。当時の新聞報道から判決の「午前9時（高裁9時半）まで殺害」の認定に疑問が残る。

3年前の事件もあり、早期解決をもとめる市民からの情報は2月27日までに約100件（27日読売新聞）を超していた。

これらの情報の捜査はどのように捜査され、結果はどうだったのか、市民に明らかにされなければならない。検察は初期捜査記録などの証拠を開示すべきです。

考察 その2

* 女兒が最後に目撃された場所と時間

1 新聞報道の農協女子職員は、その後の供述等からO女とK女と考えられる。

報道から、O女は20日の女兒2人の目撃場所を農協前の県道付近であったことを供述している。三叉路付近にいた造園業の1氏は当日の20日から事情聴取を受けている、O女も20日から事情聴取を受けたと考えられる。

①午前8時半ころ、潤野小から約400m離れた飯塚市農協潤野出張所近く（前で）の路上（県道）にいたのは確認されている。

・学校近くの農協出張所前の路上で目撃されたのが最後の「確定情報」（捜査本部）

②O女の3月2日付検面調書は、「8時半前に和田方三叉路の手前の車中で化粧していると三叉路に2人が入ってきた。8時半ころ三叉路を通過する時左手に2人を目撃し、T車、I車、F車の横を通過し、県道の手前で髪がぼさぼさの作業員風に見える男性が運転するボンゴ車と離合し、8時30分過ぎ頃農協の駐車場に停めた。約3分後に同僚K女車が駐車場に入ってきた」、と報道から変更されています。

*判決は、調書でO女は4台の車と離合しているが、それは間違い。県道手前で離合したのがF車である、としています。

③弁護団は、「和田方三叉路」にかかるT、I、F、K女およびO女の調書にもとづく再現調査をおこない、O女以外の4人にも女兒目撃が可能であるにもかかわらず誰も目撃していない。したがって、20日8時半ころ三叉路で2人を見た、というO女検面調書の日時と場所は信用できない、とする意見書を提出した。

2 造園業 I 氏の「当時、塀が途切れる付近で造園業者ら数人が作業していたが、2人を見かけていないという」（3月20日朝日朝刊）の報道と供述から考察

- ① I 氏は、「20日に警察が来て子どもがおらんごとなったと言われた。21日にも来て聞かれた。その後1ヶ月間に7～8回とか多数回事情聴取を受けた」「8時20分ころ、女の子を一人見た。早く行かんと怒られるよと声をかけた。8時半以降、小学生1年生や小学校低学年の女の子二人連れは見えていない。私も T も女の子は見えていないのに農協の職員はみている。時間的におかしいという話をしたことがある。腕時計が4, 5分ずれていることはあると思ったのでたいして気にしなかった」「(O女運転の)スズキセルボモードは見えていない。車には詳しい、珍しい車だから見ていれば記憶に残るはず。」と警察から高裁まで一貫して供述・証言。
- ② I は、2月20日午前8時20分ころ、造園作業のため県道と三叉路をつなぐ市道（以下、市道と標記）に車（三菱デリカ）をとめた。その時、C子を見て声かけた。その後、和田方で作業して約束していた8時30分に和田方門に出て県道を見ると、農協を過ぎたところをT車が走っていた。市道に出てT車を出迎えた。それから8時40分過ぎまでいたがO女のスズキセルボードも女兒2人も見えていない。
- ③ I がO女のスズキセルボモードと女兒2人を三叉路から市道、県道の間を目撃できない時間帯は、和田方で作業していた8時20分～8時30分の間。
- ④ K女が8時30分ころ市道でF車と離合し通過したことはT, I, Fが目撃・供述している。K女が農協駐車場に着いたのは8時30分過ぎになる。
- ⑤ O女は「8時半前に三叉路手前で化粧をした、K女が農協駐車場に入ってきたのは約3分後」と供述。I がO女車を目撃できない時間とK女の供述からO女は8時27分には農協駐車場にいたと考えられる。
- ⑥ I と8時30分に約束していたTは、8時30分ころ農協の前の県道を通過後右折して市道に入りI車の前に駐車した。また、T車のすぐ後ろから来たFはT車の前に停車し、K女車と離合した。TもFも県道、市道、三叉路で女兒を目撃していない。
- ⑦ これらから、女兒2人は新聞報道では農協前付近の県道で目撃されており、女兒2人もO女車も、8時20分～30分の間に三叉路から市道を通過していたことになる。
- ⑧ 8時20分～30分の間に、まず女兒2人が通過し、その後にO女車が通過。O女は、農協付近の県道で女兒2人を目撃した後農協駐車場に駐車し化粧をはじめた。
8時30分ころ、Iは市道に立っており、TとFは農協前県道を通過し市道に入り、市道でK女車と離合した。K女は8時30分過ぎに農協駐車場に停めた。O女が駐車してから約3分後。しかし、IもTもFもK女も女兒2人を目撃していない。
- ⑨ 以上から、O女が2月20日出勤途中に2人の女兒を目撃していたとすれば、その目撃場所、すなわち女兒最後の目撃場所は、農協付近の県道路上で8時27分頃と考えられる。そして、TとF, K女が通過する8時30分頃前までに誰かに誘拐されたと考えられる。

★ I 氏は、K女車通過後に三叉路側から「紺色後輪ダブルタイヤのマツダボンゴ車が通過した」と供述・証言している。この供述・証言が久間さん犯人につながる。しかし、その時間は8時30分以降であり、女兒2人はすでに誰かに誘拐されており、久間さんは犯人とはなり得ません。

考察 その3

*I氏の「女兒もO女車も見えていない」供述とO女の目撃供述

①O女の女兒目撃供述は、それ以後の目撃者がいないことから、女兒誘拐事件の時間と現場を特定する供述であり、I氏の三叉路（O女女兒目撃現場）付近の市道で、紺色後輪ダブルタイヤのボンゴ車（車の特徴が久間三千年さんの車と似ている）目撃情報は誘拐事件と久間さんとの関連を示す供述となっている。

②しかし、それぞれの時間と場所に違いがあれば、二つの供述に関連性はなくなる。久間さんと誘拐事件（殺人も死体遺棄も）は関係ない、ということになる。

③新聞報道によると、事件直後O女は女兒を目撃したのは農協付近の県道としている。一方、農協・県道より手前の市道にいたI氏は「見ていない」という供述。

同時刻、同じ通学路で学校より手前（自宅側）の人は目撃していないのに、その人より学校側の人は見ている、不思議な現象が起きています。

④判決（検察）は、この問題を、O女の目撃場所をI氏らより手前の三叉路に変更することで解消した？

女兒2人は、三叉路でO女が目撃した後、通学路を北（自宅方向）に戻りI氏らの前を通らなかった、として、I氏の「女兒は見なかった」問題を解決？した。

⑤そして、O女車はI氏と合うF車と離合し、そのF氏と同じ場所にいたI氏は「紺色後輪ダブルタイヤのボンゴ車」が通過するのを目撃した、と誘拐事件に久間さんの関連を疑わせる供述をしている。

⑥しかし、弁護団の現地検証で、同時刻ころ三叉路付近にいたI、T、F、K女の4人にも女兒目撃は可能であるにもかかわらず、4人は女兒を目撃しておらず、O女一人だけが目撃したO女供述に信用性がないこと、すなわち、三叉路での目撃供述（日時と場所）は信用できないことを明らかにしています。

⑦I氏とO女の供述の矛盾は、I氏が造園作業で市道を離れた8時20分から30分の間に女兒とO女車が通過した、（考察2参照）とすれば解消します。

I氏は、「農協職員と腕時計が4、5分ずれていることはあると思った」と、農協職員は8時25、26分頃に目撃していた可能性を示唆する供述もしています。

★O女の女兒2人目撃とI氏のボンゴ車目撃に関連性はなく、また、I氏のボンゴ車目撃時間、場所から、久間さんに誘拐事件、殺人事件、死体遺棄事件の犯行は不可能で、久間さんは無罪です。再審で真実を明らかにしなければなりません。

考察 その4

*T氏の八丁峠での目撃供述

（1）T氏の八丁峠の目撃供述調書の端緒

①22年4月23日、NHKBSの飯塚事件特集番組で、当時秋月駐在所勤務の山田善

光警部補は、「3月2日、近所の森林組合職員の女性が駐在所に差し入れを持って来た時に、職場の同僚から聞いたと、『(八丁峠の現場)近くで車を見た、紺色ワゴン車だったんで、これ違うよね、犯人じゃないよね、全く関係ない話だよ』という話をしたので、本署に連絡した。」と話している。

②この後、甘木署捜査員がT氏から「八丁峠の頂上付近で紺色ワゴン車に乗り降りしている男を見た」との供述を得る。3月2日付調書

・3月4日 T氏、甘木署捜査員を発見現場（女兒遺留品発見現場）に案内

・3月7日 甘木署捜査員が飯塚市内の久間さんの車を下見

・3月9日 「紺色ワゴン車後輪がダブルタイヤ、ラインはなかった車」と男を見た。

等の供述調書が完成する。

③5月28日付、T氏の職場の同僚のA氏供述調書要旨

「2月21日夕方、残業中にラジオで八丁峠の遺体発見の放送があり、Tが2月20日午前11時ころに古処林道より上の方で駐車している車と運転手を見た。車はダブルタイヤだった、と話した。しかし、遺体遺棄したのは夜しか考えられないので、Tが昼に目撃した車は事件とは関係ない、と話した。」

④これらから、T氏が2月21日夕方A氏に話した目撃情報は、3月2日までには森林組合の職員や現場作業員など10人前後は知っていたと考えられる。しかし、誰も警察に通報していない。

⑤一方、T氏は、法廷で「事件に関係あると思ってA氏らに話した」と証言(96,9,6)している。しかし、誰も警察に通報していない。

(2) 新聞報道

①20日午後4時ごろ 遺体や所持品が見つかった八丁峠から秋月地区にかけて、峠の路肩に白色乗用車が駐車していたのを通行人が目撃

②20日夕から夜にかけて、遺棄現場から1,5kmの秋月地区の国道322号近くの路上で「不審な車を見た」という情報を得た。黒のトヨタクラウン。

③同日夜から深夜の間 秋月地区の国道わき道で白色乗用車を約10人が目撃していた。そばに40歳前後の男性が立っていた。このときトランクは閉まっていたが、7,8分後には開いていた、という。

④21日午前0時～ 甘木市の国道沿いで白い乗用車を複数の地元住民が目撃

(3) 3月2日まで10日間も誰一人警察に通報をしなかったのはなぜか?

①例え、報道と車体の色が違っていても、犯行は夜しか考えられなくても、T氏が目撃した場所は21日には犯行現場になっている。

②現場は、自分たちが維持・管理する山林作業で、日常使用する大事な道路であり、その道路脇から死体や遺留品が発見されている。

③マスコミは連日報道し、2月25日頃からは捜査の行詰りを報道している。

④しかも、5月には同じ山地の夜須高原に天皇を迎えた植樹祭という一大行事を控えおり、当時すでにその準備に入っていた。

これらから、なぜ3月2日まで10日間も誰一人警察に通報しなかったのか疑問?

⑤さらに、T氏は現場を案内するのに、現場の200m下のキャンプ場事務所から頂上までを3往復した後、現地を特定した、と供述している。

⑥普段仕事で通いなれた道路で、しかも目撃した男と車については詳細な記憶が残っているのに、犯行現場になった場所を忘れていた。さらに、ダブルタイヤ確認の振り返りは命がけの非常に危険な運転（私たちの現地調査による）をしていた

のに、なぜ3往復もしなければ特定できなかったのか疑問

⑦以上から、T氏が目撃した場所は、本件とは全く関係ない別の場所、3月2日付供述調書の「頂上付近」ではなかったのか？ T氏供述は捜査官の誘導？

◆ 捜査に関する報道（4月20日まで 報道日時順 ★は報道なし）

①★21日 木村さん 20日午前11時頃、八木山バイパスで女兒2人を乗せた白い軽自動車」を目撃したことを警察に通報 第2次再審請求の新証拠

②22日 3年前の愛子ちゃん事件とのかかわりを重視、愛子ちゃん事件の不審者150人のうち、飯塚市や福岡市東区、宗像市内等に住む10人程度の変質者をリストアップし、本件殺害当時のアリバイなどを調べたい（捜査本部幹部）としている。（西日本他各紙）

③24日 捜査本部は、遺体はかなりの時間放置されていたと断定。殺害現場は遺体発見現場や遺留品発見現場と別の場所とみている。

殺害現場が、人目につかない山林内などであれば、わざわざ遺体を国道322号線沿いの山林まで運ぶ必然性が薄いため、屋内か比較的開けた場所の可能性もあるとしている。（毎日）

★25日 捜査員が久間さん宅訪問 事件当時のアリバイ等聞き込み

④26日 2人は20日午前8時30分頃、潤野小学校の300m手前で目撃されたのを最後に、一度消息を絶つ。その後、2人が再び姿を見せるのは、東へ約3kmも離れた市の繁華街、本町商店街の書店と玩具店で午後1時40分から2時にかけて、いずれも女性従業員が目撃した。大量の捜査員を動員して、2つの地点を結ぶ沿線で聞き込みを続けているが、この約5時間の目撃情報がほとんどなく、足取りがまったくつかめていない。

死体は、嘉穂町と甘木市の境から4.5kmの国道322号線沿いの雑木林に捨てられていた。道路からわずか5,6m下の斜面で、第一発見者が「まさかこんなところに死体があるとは思わず、マネキンだと疑わなかった」という捨て方だった。隠蔽工作の後がほとんど見られない。捜査員も「隠す余裕がなく慌てていたのか、ただ単に大胆で粗雑なだけなのか」と首をひねる。（読売）

★26日か27日ころ 警察が木村さんから事情聴取 自動車は紺色ではなかったか？ と質問する。

◆捜査本部（飯塚署）は、この頃までに愛子ちゃん事件にかかわる「不審者10人程度」の身体的情報、車の所有の有無、自動車の色等の情報を把握していた？
・久間さんも10人の中の1人にされ、車の色や特徴と毎朝三叉路付近を通ることを警察はすでに知っていた。？

④27日 県警は遺体発見翌日から連日430人の捜査員を動員、これまで延べ約2500人を投入した。聞き込みでは、飯塚市内の約29,000世帯を対象にローラー作戦を行っているほか、周辺市町にも対象を広げている。市内7カ所、遺棄現場への道路沿い5カ所で定時検問を実施。これまで約100件を超える情報が寄せられているが、直接犯人に結びつくものはない（読売夕刊）

★3月2日付け 農協職員O女 2人の女兒目撃について検面調書

★3月2日 捜査本部、八丁峠遺留品投棄現場目撃者T氏聴取

- ⑤3月4日 220件を超える情報が寄せられているが、事件解決の手掛かりは依然つかめず、2人の拉致現場・時間・殺害場所も特定できていない。(西日本)
- ★3月4日 T氏、捜査員を目撃現場に案内
- *3月4日付捜査報告書には、不審車両として27型式あるマツダボンゴ車のなかから久間車と同型を含め4車種のための型式番号を記載していた。
- ⑥3月5日 白い車を追う捜査陣が最も注目しているのが夜須高原。20日午前11時ごろ、助手席に女兒2人を乗せた白っぽい車が目撃され (西日本)
- ★3月7日 捜査員(甘木署)、久間さん宅へ久間車を下見
- ★3月9日 T氏の員面調書完成
- ⑦3月13日 延べ9,000人の捜査員を投入し聞き込み、市民から300件近い情報が寄せられた。①20日午前8時頃、2人と同じ通学路で乗用車の男が女兒3人に声をかけるのを見た。②同11時頃、夜須高原で女兒2人を乗せた車を見た、との情報に捜査本部は注目、事件との関連を調べている。
- ★3月14日、16日、18日、甘木署は久間さんを任意で事情聴取する
- ★3月20日 甘木署 久間さんのポリグラフ検査、久間さん、毛髪5本任意提出
- ☆4月2日 警察庁松尾好将広域捜査指導室長 現場を視察
- ☆4月8日 警察庁国松孝次刑事局長 飯塚署、八丁峠を視察
- ⑧4月20日 福岡県警捜査一課と飯塚、甘木署の捜査本部は19日までに通学路近くと所持品の遺棄現場で不審な黒色乗用車と紺色ワゴン車の新たな目撃情報をつかんだ。
- ・黒色乗用車が目撃されたのは、20日午前8時半すぎ 潤野小校区に隣接する穂波町若菜小校区のT字路で停車中の女性が、前方を大型でやや古いタイプの黒色乗用車が横切った。中年の男性が運転、後部座席に乗った女兒をしっかりとつけ、女兒たちは窓にへばりつくようにしており、助けを求めているようにも見えた。
 - ・紺色ワゴン車を見たという情報は潤野地区と甘木市のランドセルなどの遺棄現場の2ヵ所。潤野地区では20日午前9時ごろ、女兒2人がおびえた様子で乗っているのを、女性店主が見たといい、後輪がダブルタイヤだったという。筑豊地区の約1600台に絞って捜査中。
 - ・甘木市では、21日昼、遺体発見現場から約3キロ飯塚市よりの所持品遺棄現場の国道322号線わきにとまっているのを、車で通りかかった人が目撃、女兒はみなかったという。(以上読売新聞)

◆ 事件発生直後の新聞報道と判決認定の相違

- 1、女兒の最後の目撃地点 農協付近の県道と和田方三叉路
- 2、最後の目撃時間 8時27分頃と8時30分頃
- 3、八丁峠の土地勘 国道322号線沿いのわずか5,6m下の斜面に捨てられていた
- 4、隠蔽工作 捜査員も「隠す余裕がなく慌てていたのか、ただ単に大胆で粗雑なだけなのか」と首をひねる。
- 5、殺害時間 判決の午前9時以降も生存していた多数の目撃情報

(飯塚事件の再審をもとめる福岡の会)

飯塚事件の再審をもとめる福岡の会

〒810-0041 福岡市中央区大名 2-2-5 1-403 TEL, fax 092-713-0144

Eメール iizukajiken_saishin@yahoo.co.jp

HP <https://www.iizuka-saishin.net>